



3月 給食だより

令和6年3月1日
さいたま市立浦和中学校
給食室

3年生の皆さんへ・・・1510回!くらい(残念だけどコロナで減ったね)

給食はあと9回で終了です!“およそ1510回”この数字は君たちが小学校入学から中学校卒業まで、給食を食べた回数でもあり時間でもある。少ないか?多いか?と言えば生涯のうちでほんの一瞬の時間であったかもしれない。また、楽しい会食の時間もコロナで少し奪われてしまっている時間でもある。

しかし、君たちが成長する上でまちがいをなく重要な“食(しょく)”であり“重要な時間”でもあったし、それぞれの人生の“食歴”となっている。もう、与えられる給食は二度とない。これからは自分で選択する方がはるかに多い。自分で選ぶということは自己判断であり責任でもある。好きなものや美味しいものは前提でもよいが、長い人生を楽しく過ごし、心と身体をつくる“自分に誇れる食歴”を積み上げ、健康であり心豊かで持続可能な社会生活をおくってほしい。2年間ありがとう。(栄養教諭 伊藤 調理員 一同)

小学校・中学校の9年間の学校給食は終わりました。(もう食べられないよ～)

学校給食卒業証書

あなたは、義務教育9年間の学校給食を終了し、日常生活におけるバランスの良い食事や組み合わせを理解し、生命や自然に感謝できるようになりました。

そして、毎日の給食当番を通じて協同の精神を養い、勤労を重んずる態度も身に付けました。郷土食や世界の料理を体験し、地産地消も理解し、道徳で食べることの意義をいっしょに考えましたので、「学校給食」を卒業することを証します。

これからは、自らの知識と五感で食事や生活習慣を管理し、健康をつくると同時に、自分の夢や目標に向かってすすんでください。

持続可能な社会の担い手として!!

浦和中学校 給食室 栄養教諭 伊藤

「いただきます。ごちそうさま。そしてありがとう」

少し前になりますが、NHKスペシャル「食の起源」という番組がありました。人間が手に入れた家族や仲間との『共食』は、おいしさを作り、感じるようになる大事な要因であり、文化を作り継承する力となっているとのことでした。このクラスのみんなと一緒に食べる最後の時間です。コロナで食卓を囲んで楽しく食べることができない時間もありましたが、やっと楽しく笑顔で食べる時間が戻ってきました。

1・2年生の皆さんも、当たり前前に食べている今の仲間や目の前の給食を、大事にしてくださいね。食は「いただきます。ごちそうさま。ありがとう。」で成り立っています。(伊藤)